

# 学 大 阪 新 聞

発行所  
厚生労働省 大阪労働局  
大阪府吹上区 吹上  
〒530-0017  
大阪市北区角田町8-47  
阪急グランドビル18階  
TEL 06-7709-9455  
FAX 06-7709-9458  
<http://osaka-young.jstite.mhlw.go.jp>

\*\*\*\*\*

## 創刊号

2013年9月27日

- 1 10月4日業界研究カフェテリア開催
- 2 わたしの就職活動日記
- 3 成長産業で雇用機会、探れ▼発刊に寄せて
- 4 セミナー紹介  
▼インターシッブ生手記  
▼就活悩み相談室

## 百貨店、航空、金融、メーカー、マスコミ…13業種 業界の動向、就活の参考に

### 10月4日、梅田で業界カフェテリア

大阪新卒応援ハローワークは10月4日、大阪市北区の阪急グランドビル26階で「第2回業界研究カフェテリア」を開く。今年には百貨店や航空、金融、アパレル、旅行、不動産など13業種のブースを設置



置。大学や短大はじめ、就職活動中の若者を対象に、業界の魅力や将来像などについて理解を深めてもらい、仕事選びに生かす。▼写真は昨年の会場。

「業界カフェ」は社会経験の浅い学生らに各業界の仕事内容や成長性、求められる人物像、やりがいなどを伝える企業選びに生かしてもらう目的で昨年からはじまった。メーカーや流通など各業界出身のジョブサポーター（JS）が講師を務めブースを設置。1

回30分程度で仕事内容などを説明する。学生たちは自分が興味のある業界ブースを渡り歩きそれぞれの仕事内容について理解を深める。各ブースでは、百貨店や航空、建設、金融、IT、アパレル、旅行、不動産、マスコミ、医薬品メーカー、食品メーカー、電機メーカー、文具・事務機器メーカーの仕事内容を説明する。就活生向けに業

### 「継続」こそ内定の近道

厚労省調査 未内定者9割が中断経験

平成24年度内に新卒応援ハローワークを利用した大学生のうち、卒業までに就職が決まらなかった未就職卒業者の95%が、就職活動を中断した経験のあることがこのほど、厚生労働省の調査で分かった。

大阪新卒応援ハローワークは「内定が得られなくても諦めず活動を続けて欲しい。個別の相談支援を活用することで就職の可能性は高まる」と呼び掛けている。

厚労省によると、平成25年3月に卒業した大学生のうち卒業までに就職が決まった学生（就職決定卒業生）と決ま

っていない未就職卒業者に分けてアンケートを実施した。それによると、就職活動を

始めた時期は両者とも大学3年時の10月から12月が3割から4割を占めた。

新卒応援ハローワークを初めて利用した時期は未就職卒業生の49%が卒業直前の1月以降に多く、就職活動が中断したかどうかについては未就職卒業者の95%が「あり」と回答。就職決定者では58%が「あり」と答えた。中断の時期では、卒業年次の夏以降からの割合が高く、7月から9月が24%、10月から12月が22%、1月から3月が34%だった。

また企業情報の集め方を紹介する府立中之島図書館ブースも出展するほか、事務や営業職など職種について理解を深める「職種について考えよう」集中講座が来月7日、ハローワークプラザ難波でも開かれる。

また企業情報の集め方を紹介する府立中之島図書館ブースも出展するほか、事務や営業職など職種について理解を深める「職種について考えよう」集中講座が来月7日、ハローワークプラザ難波でも開かれる。

また企業情報の集め方を紹介する府立中之島図書館ブースも出展するほか、事務や営業職など職種について理解を深める「職種について考えよう」集中講座が来月7日、ハローワークプラザ難波でも開かれる。



# 「最後まで絶対に諦めないで」

昨年12月から本格化した就職活動も早や10カ月が過ぎた。景気はやや上向き傾向を示すものの依然、若年層の就職は厳しい。そんな中、企業から内定を得た学生たちは、どんな思いで活動し、この闘いを乗り越えたのか。自らの手で未来をつかんだ彼らの言葉を伝える。

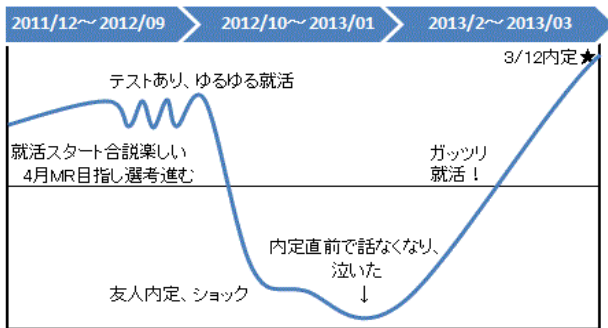
## 内定は卒業式の4日前、自然な笑顔で面接

◆どんな仕事に就きたいと  
考え活動をしてきたか。

「MRに興味があり、昨年4月から6月ごろまで製薬会社や化学系の会社に絞っていたが、女性ということで面接を断られることも多かった。ネットでのエントリーを含めると五百社には応募した。履歴書は百通くらい出した。選考が進みながらも内定目前で話がなくなったり条件面で泣く泣く辞退した会社もあった。不採用通知が届くと、またか…と、泣いた。友人の内定が次々と決まりだし焦った。すでに4回生の1月も終わろうとしていた。後がない…。」

◆その時期をどのように乗り越えたか。

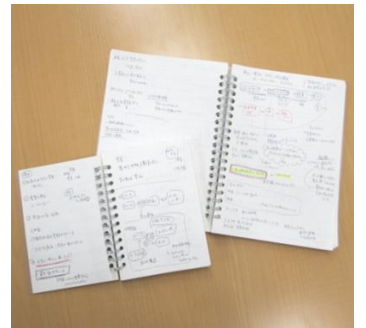
「履歴書を毎日1通は送ろうと決めた。学校求人、会社のHP、タウン誌、ハローワーク求人など。不安を紛らわ



せる方法は、同じ状況の友人との情報交換やキャリアセンターの職員、ハローワークのジョブサポーターに今の心境を話すことだった。「就活状況はどう?」と聞かれると「〇社選考中です」と答え、自分の言葉で選考中の企業があることを再確認することで安心し、自信につながった」。

◆就職活動での工夫は。

「2冊のファイルを作った。応募済みの求人票と会社案内のファイル。もう1冊は不採用ファイル。応募済のファイルには常に求人票がある状態を自分に課し、履歴書と写真は一切らないよう準備していた。企業に直接電話して応募を断られても、もう一歩食い下がったこともある。「そこをなんとか」とゴリ押しで会ってもらったことも」。



◆面接ではどんな点を心掛けたか。

「面接を重ねると良し悪しはともかく面接慣れしてきた。話しに行く感じ。常に意識したことは①伝えたいことのポイントをとまとめる②首尾一貫して答えるに矛盾がないよう聞かれたこと、答えたことをメモして読み返す③集団面接では他の人の良い答えを参考にする。アルバイトで接客している自分を思い出し、面接官を接客相手とみたくて自然な笑

顔で話すよう対応した」。

◆そして内定を得た。

「納得するまで就職活動を続け、内定が出たのは卒業式の4日前。簡単に決まっていたら会社に対してありがたみを感じなかったかもしれない。就職を簡単に考えないで欲しい」。

◆「諦めないで欲しい。早く就活を終わらせたい、と妥協することはして欲しくない。就職を簡単に考えないで欲しい」。

## 就職フェアに1700人、熱く

「近畿ブロック大学等就職フェア2013」が7月3日、大阪市内で開催され、来春卒業予定の大学生や短大生ら1700人が参加。企業ブースでの説明会や就職相談会に臨んだ。写真。就職フェアは近畿2府4県の労働局が主催で毎年開かれている夏のビッグイベント。今年は金属加工や電機電子、電子部品、建設、不動産、流通、医療福祉、アパレルなど156社が参加した。職種では、専門技術や営業、販売、製造を中心に284件の求人があった。



会場には、各社のブースが設置され、学生らが意中の企業に並んだ。説明会では大学生から求める人材像や研修制度、仕事のやりがいなどについて質問があり、真剣な表情で会社側の説明に聞き入っていた。会場では、就職活動の進め方講座や、企業選定の相談コーナーもあり、参加者はメモを取るなど熱心に聞き入っていた。

# 成長産業で雇用機会、探れ

就職活動は第3四半期に突入した。例年、中小企業の求人活動がより活発になる時期だ。今年は企業側が内定を早める一方、中小企業にも目を向け始めた学生からは「どんな企業や仕事を選べばいいかわからない」との声も聞く。就活もヤマ場を迎え、どんな視点で企業選びを進めればいいのか。大阪新卒応援ハローワークのレギュラー・マッチングブース（RMB）と成長産業をカギに、企業担当のJSが会社選びの方向性を解説する。

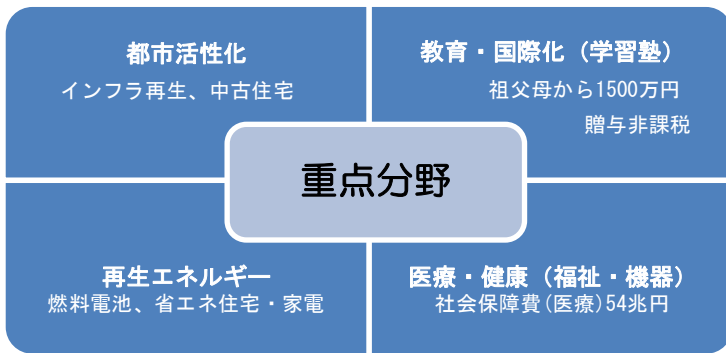
## 就活に役立つ キーワード



今年には銀行や証券など金融業界の採用予定者数が拡大している。その背景にあるのが来月1月に導入される「小額投資非課税制度（NISA）

## 都市インフラや旅行、医療福祉、再生エネルギー

### 中小のグローバル企業も説明会



ニーサ」だ。株などの売買益にかかる軽減税率が平成25年末で終了する。その影響を抑え国内の貯蓄を投資に振り向ける狙いだ。

NISA口座で購入した上場株式や株式投資信託などの配当金、売買益は非課税となる。日本証券協会の発表によると、9月末の口座開設予約数は証

業種	構成比%
IT・コミュニケーション	15.5
建設・不動産	7.2
医療・福祉	4.0
ホテル・旅行	2.3
教育	1.5
再生エネルギー	3.3

表1

東洋経済新報などによると、不動産や建設業では、次世代インフラ整備（道路やトンネル、橋などの老朽化対策）は現在の国内市場2兆円を2030年には33兆円に拡大▼医療・福祉分野では、社会保障費（医療）は2012年度で35兆円が25年度に54兆円▼観光立国推進で訪日外国人旅行者数は30年までに

表2

3千万人へ。雇用は10年の25万人から83万人へ3倍増―と見込み2020年の東京五輪効果にも期待がかかる表1。

特にこれら成長分野で事業を展開する中小企業は採用意欲も高い。

そこで提案したいのが当所の企業説明会であるRMBの活用だ。今年4月から8月のRMBの利用企業件数は前年の2倍以上。そのうち、ITや情報コミュニケーション、建設・不動産、医療・福祉など成長分野の企業件数は全体の3分の1を占めている表2

2. 参加企業には独自技術を持つ中小のメーカーが多い。例えば大阪の流体制御部品メーカーは、株式は未公開だが資本金8千万円。主力のバッテリーは、世界トップシェアで海外20拠点を持つ。大阪のメーカーは社員数90人だが、液晶ディスプレイを支える配向膜印刷版の製造で世界トップシェアを誇るグローバル企業だ。

RMBの参加企業は、当日説明会に参加した学生の採用意欲が高い。RMBの利用でグローバルに活躍する中小企業に出会って欲しい。

#### 発行に寄せて

大阪新卒応援ハローワークでは、これまでホームページやWEB提供サービスなど主にネット媒体を通して情報発信を行ってききましたが、そこには載せきれない多くの就職活動に役立つ情報（面接会等のイベント案内、セミナー情報、内定者の声、業界情報、企業情報、知っておきたい就活豆知識、時事ネタ等）や、ジョブサポーター（JS）からぜひ伝えたいことなどを、新聞という手元に残る形で発信していくこととしました。この「学ハロ大阪新聞」を通して多くの情報を吸収していただき、就職活動のワンアイテムとして役立てていただきたいと思います。ご意見・ご要望がありましたら、お気軽にジョブサポーターまで。



# ビデオで自分の姿、チェック

セミナー紹介「実践☆面接力アップ」

ひとは見た目も大切ですー



「お辞儀をするときは背筋を伸ばして、頭だけ下がらないように注意して。」

スーツ姿の参加者に講師の細かい指導が入る。「人は見た

目だけがすべてではない、といわれるが、面接ではやはり見た目と中身の両方が問われる。しわのあるスーツや櫛目のない髪型、悪い姿勢、無表情では採用内定はおぼつかない。第一印象の大切さを実践して身に付けてもらうのがこの講座の趣旨。」

講座のメインは面接の入室から退室までビデオ撮影するコーナーだ。男女分かれて、参加者でチェックする。ほと

んどの学生にとって、ビデオ撮りは初体験。自分の姿をみて自分自身を知ることができるといふ。ポイントが姿勢と笑顔にあるという。

「会場に入った瞬間に、笑顔で面接官の心をつかめるかがカギ。背筋をピンと伸ばして、若さと可能性があることを言外にアピールできるようなもののが到達点」と話す。

女子学生にはメイクや髪型、シャツの選び方まで丁寧に指導し写真。

男子学生にはスーツの着こなしやネクタイのきれいな締りめ方、靴選びのコツなどを伝授する。

## 就活悩み相談室

（質問）「今まで何十社もエントリーしたけど書類も面接もなかなか通りません。今まで自分が全否定されているようで。私って社会に必要とされていないんでしょうか。」

（回答）企業によっては数

千件、数万件のエントリーシートが集まることもあり、限られた時間の中で面接可能な人数に絞り込むのに採用担当者も十分に目を通すことができないことも少なくありません。また面接官も所詮人間です。面接で緊張しているあなたを見て、一方的な思い

込みや偏った印象に引きずられる確な評価ができない場合も多々あります。面接官の視点もあなたが自社の社風や職場の雰囲気合いそうか、ビジネスニーズの視点からあなたを評価しているだけなのです。あなたの全人格を評価している訳

でもありません。就職先との出会いは一種の「縁」。あなたを必要としている場所は必ずあります。就活に疲れて孤独や不安を感じたら一人で悩まず、一緒に伴走してくれるジョブサポーターに相談して下さい。きっと新たな視界が開ける筈です。（JIS 大園）



## 「積極性で共に内定つかもう」 インターンシップ生、大阪新卒応援HW体験

関西大学大学院の女子学生

が9月2日から5日間、大阪

新卒応援ハローワークでイン

ターンシップを体験した。学

校での登録会や受付業務に写

真などを体験するとともに、

多くの若者とも触れ合った。

そこで感じたことをまとめた。

◇ ◇

▼私は内定をもらったこと

がありません。その原因は、

大学に頼り切っていた自分の

甘さであると思います。今回

インターンシップで大阪新卒

応援ハローワークに配属され

て気付いたことは、一年前の

私と同じような学生がたくさ

んいるということでした。中

でも受付業務と学校出張の就職支援、模擬面接セミナーでは多くの学生と触れ合うことができました。そこで感じたのは「学生の受動化」です。

どのような将来を描いていきたいのかを考えた回答で、それが会社選びに繋がっていくのだと思います。

例えば受付業務をしている時挨拶ができない学生、単語で話すので会話が成立しない学生と様々な学生がいましたが、共通していることは「自分から行動を起こさない学生になっっている」ということです。

▼その就活を受動的に行っているのでしょうか？内定は自分で掴み取っていくものです。私もこれに気付けたのは就活中ではなかったので偉そうには言えませんが、みなさんにはそれに早く気付いて内定を勝ち取って欲しいのです。

最近就職率を上げようと就活に関して手取り足取り支援してくれる大学が多いように感じます。しかし就活は自分が今まで過去にしてきたことの結果、これからの四十年をどうような会社で過ごしたいか、いかと感じました。

▼例えば自分から挨拶を試みる、自分から質問をしてみる、小さな小さなことでも積極的にしていくことが今の学生にとって大切なことではないかと感じました。